

# あさがお

広報紙『あさがお』第5号 平成31年1月1日発行  
 社会福祉法人 名張厚生協会 名張養護学園  
 〒518-0721 三重県名張市朝日町 1263-3  
 Tel.0595-63-0717 Fax0595-63-0721

## 「獅子舞が来たー」

各地で秋祭りが多く行われていた10月末の夕刻、太鼓の音と共に獅子舞が当園を訪れてくれました。



獅子舞は幸せを招くと共に厄病退治や悪魔払いとして古くより伝えられています。子どもも大人も無病息災で元気で過ごせる一年にしたいです。

突如現れた獅子舞に大興奮！初めて獅子を前にして、遠くから怖々眺める子、頭をかんでもらったら頭がよくなると知ってか知らずか、自ら志願する子と色々な反応がありました。



## 巻頭言

施設長

山口 伴尚



現在の入所児童数

本園 28名

／定員 30名

地域小規模「若葉」

5名

／定員 6名

明けましておめでとうございます。

新しい年号に変わる節目を刻むこの年が、皆様にとって平和で幸多いものとなることを心からお祈りします。

児童養護を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。こうした激動の時こそ、原点を見失うことなく、養育の質の向上に焦点を合わせ、努力を重ねることが大切であると思います。

正月は箱根駅伝を楽しみにしている方も多いと思います。最近では青山学院が優勝を重ねていますが、その大きな要因は、原監督のマネジメント力にあるといわれています。大いなる夢を実現するため、明確な目標を定め果敢に挑戦し、PDCAサイクルを着実に重ねていくことの大切さを改めて感じています。

子ども達の幸せを願いつつ、質の高い養育を目指し、一人ひとりの職員が目標を持って、精神論に偏することなく、知恵を絞り、改善を重ねて、大きく前進していく年にしたいと決意しています。

何卒、本年も宜しくご支援、ご指導をお願い申し上げます。

## ユニット便り

### 『乗馬体験』

11月10日 (土)

乗馬クラブ  
ペピーズホースフィールド



やさしい ころ  
思いやりの ころ  
尊ぶ ころ

こども乗馬クラブ ペピーズホースフィールドへ！

昨年、乗馬クラブオーナーである上迫夫妻が当施設に研修に来られたことから交流が始まり、乗馬体験をさせていただくことに。馬の背中で揺られる体験をするとやみ付きになるようで、「今年も行きたい」との声が。



昨年は都合がつかず参加することの出来なかった高校生や中学生男児も参加。大柄な男児が乗馬して馬が音を上げないか心配しましたが、子どもも馬もとってもご機嫌でした。乗馬以外にも餌やりやブラッシングと、馬とスキンシップを図る時間

が、心を癒すことにとってもつながっていました。

上迫オーナーの話では、「人に対しては全然コミュニケーションが取れない子が、馬には自分の全てを話せるようで、それを繰り返すことで他の人ともコミュニケーションが円滑になった。」と、好事例も聞くことが出来ました。馬は動物界では人の気持ちがわかるピラミッドの頂点だそうです。補足ですが、もう一つ気持ちがわかる動物はイルカだそうです)^(。)

乗馬の後は、段ボール式窯で焼く簡単ピザづくりにも挑戦しました。



## 恒例行事

### 『お餅つき』

12月28日 (金)

「よいしょっ！」  
みんなの掛け声に合わせて  
ぺったん、ぺったん(#^.^#)



大掃除も前々日に終えた年末の28日、1年を締めくくる最後の行事「お餅つき」を行いました。ここ最近はお餅つき機で行っていましたが、今回は杵と臼による昔ながらのお餅つき。蒸しあがったもち米を園長が丁寧に杵でぐいぐいと潰し、みんなの『よいしょー！』の掛け声に合わせてぺったんぺったん。

子ども達も重い杵を振り上げ、時にはふらつきながらペタンと楽しげについていました。つきあがったお餅はあんこ餅、黄な粉餅、押し餅と職員と子どもが一緒になって丸めたり、押ししたりと全身粉だらけになりながら、この時期ならではの季節の行事を、お餅のように温かい丸い気持ちで行うことが出来ました。



## ほっとニュース

### 『スポーツ大会』

11月3日 (土)  
大人も子どもも全力疾走！  
全力応援！



スポーツの秋、子どもと一緒に体を動かそう。もっともっと親睦を深めよう！が、大会のコンセプト。

大人と子どもが混成4チームに分かれ、対抗戦でじゃんけん列車・綱引き・ソフトドッチボール・飴玉探し・リレーと競い合いました。(＃^＃)イエーイ！

チームのために必死に走る姿に声援も増し、応えようと足がもつれて転倒する園長の姿もありました(笑)。飴玉探しでは白粉顔同士でお互いを称えあう睦ましい光景と、白粉顔を見て喜ぶ無邪気な子ども達といったように終始楽しく絆を深めました。



### 『ひなち湖マラソン』

11月18日 (日)  
2018 名張ひなち湖  
紅葉マラソン大会



小学1年から高校2年までの11名の児童、5名の職員がエントリー。職員と子どもと一緒に走り始め8年が経ちました。

ジョギングから始めた子どもも、今ではタイムレースに挑戦しています。子ども達が大人になった時、この時の思い出がきっかけで、今度は自分の子どもと一緒に走っている姿を夢見て、これからも走り続けます。

## 地域交流

### 『いも掘り&クッキング』

10月14日 (日)  
名張市赤目市民センター



伊賀少年サポートセンター主催の「さつまいも収穫体験とお菓子づくり」「陶器の絵付け体験」に参加。

さつまいも掘りは、酷暑と度重なる台風の影響をうけ大きく成長できず、掘れば出てくるという醍醐味は半減。お菓子作りはさつまいもご飯・芋きんとん・大学いもと欲張りなメニュー。どれもこれも作ることが楽しく集中して調理していました。『大学いもは芋の甘みがダイレクトに口の中に広がり最高においしかった』とグルメリポーターさながらのコメントが聞けました(^)/



### 『絵付け体験』

10月27日 (土)  
伊賀焼伝統産業会館

焼く前のお皿に、子ども達が思い思いに模様や少女漫画の主人公、風景や動物などを描き入れ、色付けをしました。後日きれいに焼きあがった伊賀焼の皿が子ども達の手元に！おかずをより一層おいしくさせる、最高のオリジナル皿が出来上がりました！！

**地域の身近な  
相談窓口**

児童家庭支援センター  
「あかり」

でんわ (0595)  
42-8331

子育てのこと、  
家庭のこと・・・  
一人で悩まないで  
一緒に考えて  
いきませんか

たくさんのご支援・ご寄附・ご寄贈

ありがとうございました♪

《個人》

堀内茂 波多野みち子 齋藤美穂 山森理宏 坂田陽子  
山田哲久 匿名 門司一徹 磯野浪平 竹川裕子  
菅尾智成 福廣勝介 安田美智子

《団体》

キング観光 フードビジネス経営研究所 辰巳織布(株)  
need corporation(株) ぎゅーとら 日本鏡餅組合  
日本ゲートボール連合 シャンメリー協同組合  
チュチュアンナ 井村屋(株) 三重給食(株) 堀井内科  
マックスバリュ中部労働組合 オキツモ流通(株)  
富国生命保険(相) 三重支社外野倶楽部  
(株)山口工務店 桔梗が丘ルーテル教会 中川理容所  
(株)サティスホーム イオン名張店 なかの洋品店  
名張地区まちづくり推進協議会

※平成 30 年 10 月 1 日～12 月 31 日

順不同・敬称は省略させていただいております。

**= 法人の理念 =**

社会福祉法人 名張厚生協会は「人としての尊厳」を尊重し、事業を利用する方々が、社会的・経済的・精神的に「自立した生活をおくること」、社会の一員として「より人間らしく豊かに生きること」、そして「生きがいをもって生きること」ができるよう、法人が築き上げてきた知識、技術、倫理、社会性を発揮し支援します。また、安心で適切な福祉サービスの提供と効率的な経営を行い、地域福祉の向上に貢献します。

**= 名張養護学園の理念 =**

「すべての人を尊重し、  
児童の最善の利益を守り、  
より積極的に支える」

**= 基本目標 =**

未来に羽ばたく夢と力を育む  
笑顔あふれる暮らし



**編集後記**

『新しい元号は「平成」であります』と小淵さんが言ったのが 30 年前。その年号が終わろうとしています。年末は TV や紙面などで『平成最後の・・・』というフレーズをよく見聞きました。5 月からは新元号に世も代わりようとしています。時代の移り変わりにうまく適応できるかな？とふと感じた平成最後の年末でした(笑)。